

令和元年 10 月 1 日に思う

私は今、地域や各団体の皆さんからの自主的な行動・取り組みを期待しています。

かつてわが村は、地域づくりの手法が「行政主導だ」と、特に根拠もなく指摘されてきました。当時は、「地域づくりは民間だ!」「いや地域事情に異なるものがあるから行政もありだ!」等々、活発な議論があったことを覚えています。私は、官民どちらの力も必要であり、その主役は住民でなければならないと考えています。

そのような思いから、村制施行 130 周年を記念して村が主催する記念事業・行事に加えて、地域や団体の皆さんにもぜひ自主的・主体的に「思い思いの 130 年をお祝いしてほしい」「地域への愛着を深めてほしい」とよびかけています。事業や行事という枠にとらわれず、“地域の糧”となる活動を対象に補助金を整備し、住民一人ひとりが「村の歴史」と「村の未来」について考えてもらうキッカケになればと考えています。

すでに複数の地域や団体から手が挙がっています。これを機に、地域のつながりや愛着が深まり、地域にさらなる“元気”が湧き上がれば幸いです。

村全体で一丸となって、水源地の村づくりを進めていきます。